



**問 道の駅ごかの維持、発展について**

**答** 道の駅ごか振興事業として改善に継続して取り組む

15 年が経過した今こそ、将来を見据えた施策を実行にすべき時と考えるが。

**問** 空調・衛生設備は改善が必要では。

**産業課長** 屋根の遮熱塗装が完了。今後、道の駅と連携しながら空調設備の改善を進めていきたい。衛生設備（トイレ）については、快適で多機能なものが求められているので、国交省と連携を図り改善に向けた取組を考えていきます。

**問** お客様第一の利用スペース拡大が必要では。

**産業課長** 現在、直売所で動線を踏まえた陳列方法など関係者間で協議を進めております。

**問** (株)五霞まちづくり交流センターの役割責任を拡大すべき。

**町長** 今後の道の駅のあり方として、裏側の用地取得や新たな事業展開を進めていく所存であり、これに関して、交流センターには道の駅運営の牽引者としての役割が求められます。



道の駅ごか直売所

**問 第 6 次総合計画について**

**答** 五霞町と関わりのある全ての方々と行政が一体となって、協働のまちづくりを進めていく

第 6 次総合計画は、課題が多岐にわたる。その中で町の自主財源を拡大することが最も重要であるとの観点から次を問う。

**問** 新たな町民を増やすための重要施策は。

**政策財務課長** 具体的には個別のアクションプランで行っていきます。主に、市街化調整区域内に住宅建築が可能となる区域指定制度の導入、道の駅ごかを中心とした地域活性化事業、ごかファンクラブ事業などの準備を進めるとともに更なる広報戦略を仕掛けていきます。

**問** 今後の企業誘致の取組の重点は。

**都市建設課長** 少しでも町にとって有益な企業、若者が魅力を感じる企業の誘致を心がけています。現在、誘致できる土地に空きがない状況ですが、進出を希望する企業は多く、新たな開発地の選定を

進めています。しかし、開発に当たっては、農地法上の課題解決が必須であり、圏央道 IC 周辺や新 4 号国道の沿線を中心とした開発区域の選定を国及び茨城県と調整を図りながら検討しているところです。



川妻方面から眺めた五霞町